

平成25年度

事業報告書

社会福祉法人
猪名川町社会福祉協議会

目 次

◎平成 25 年度事業報告(総括)	・・・P 1
◎平成 25 年度事業報告(各事業)	
1. 諸会議	・・・P 2～P 3
2. 第 5 次地域福祉推進計画	・・・P 4～P 5
3. 地域福祉活動	・・・P 5～P 8
4. ボランティア活動	・・・P 8～P 1 1
5. 福祉用具の貸出事業	・・・P 1 2
6. 手作りおもちゃの貸出事業	・・・P 1 2
7. 障がい者(児)福祉活動	・・・P 1 2～P 1 8
8. 高齢者福祉活動	・・・P 1 8～P 2 3
9. 福祉教育活動	・・・P 2 4～P 2 7
10. 広報・啓発活動	・・・P 2 7
11. 自主財源活動	・・・P 2 7～P 2 9
12. 団体事務局の運営	・・・P 3 0
13. 総合福祉センター管理受託事業	・・・P 3 0～P 3 1
◎役員の状況	・・・P 3 2

平成 25 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告(総括)

本年度は、地域福祉を推進する団体として、今後の地域福祉の方向性を示す「第5次地域福祉推進計画（平成 24 年 4 月～27 年 3 月）」の中間年度となり、特に情報の発信と広報活動、地域との連携・協働、福祉活動の担い手の育成に取組みました。その評価として住民の立場や専門的な視点から地域福祉推進計画評価委員会を開催し各事業の取組みの評価を受け、次年度からの計画推進をより一層進めながら次期計画の素案作成も視野に入れ取り組みました。（推進計画の詳細は後添）

地域福祉活動では、校区・地区福祉委員会の活動支援やボランティア活動に係る各種ボランティア養成講座の開催、ボランティアニーズとのマッチングや町内小中学校等と連携した福祉教育活動を推進するなど地域内の「人の輪づくり」や次世代の育成支援等「きっかけづくり」に努めました。

高齢者福祉事業では、地域包括支援センターによる総合相談や介護予防事業等を実施。介護保険サービス事業では経営的に厳しい面があったものの、安定的なサービス提供により利用者支援に取り組み、また軽度生活援助事業やふれあい弁当サービスなどフォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で利用者に対し個別支援に努めました。

障害者福祉事業では、利用者にサービスを提供しながら、福祉学習への協力をはじめ、利用者の方への支援にも地域のボランティアの方にサポートいただくことで、地域での販売等で利用者と地域の方が一緒に交流できる場づくりを実施する等、地域に開かれた事業所づくりに努めました。

地域における障害者福祉では、障がい者ふれあい運動会やふれあいバスツアー、イナウイープロジェクト等を通して各種団体をはじめ、ボランティアとの連携など、地域福祉の参画についての定着化やその推進に取り組みました。

社協を支える職員については、県社協等の実施する各種専門研修や外部研修に参加し、個々の専門性と資質の向上に努めました。

法人全体の事業収支では、収入総額 432,051 千円（対前年度比率 103.3%）、支出総額 417,996 千円（対前年度比率 99.7%）となり、差引額は 14,055 千円（前年度 △860 千円）の黒字となりました。これは介護保険基金からの取崩が反映されているもので事業による収入増ではありません。このうち経常収入は 408,063 千円、経常支出は 421,970 千円となり、経常収支差引額（経常損失）は△13,907 千円、経常収支比率は 96.7%となるため常に資金ショートの可能性を含んだ状況です。

以下、ここに平成 25 年度における本会の諸活動について報告いたします。

1. 諸会議

◎理事会開催状況

(理事定数 11名)

年月日	会議名	場所	内 容
25. 4. 25	理事会 (1回)	総合福祉センター	(議案第1号) 評議員の選任について
25. 5. 23	理事会 (2回)	総合福祉センター	(議案第2号) 評議員の選任について (議案第3号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について (議案第4号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定年後の再雇用職員の雇用に関する規程制定について (議案第5号) 平成24年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について (議案第6号) 平成24年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
25. 9. 26	理事会 (3回)	総合福祉センター	(承認第1号) 専決処分の承認を求めるについて (議案第7号) 評議員の選任について
26. 1. 30	理事会 (4回)	総合福祉センター	(承認第2号) 専決処分の承認を求めるについて (議案第8号) 評議員の選任について (議案第9号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会旅費規程の一部改正について (議案第10号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について (議案第11号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について (議案第12号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会処務規程の一部改正について (議案第13号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会基金の設置及び処分に関する規程の一部改正について (議案第14号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について (議案第15号) 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
26. 3. 24	理事会 (5回)	総合福祉センター	(議案第16号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会経理規程の全部改正について (議案第17号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の一部改正について (議案第18号) 平成26年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について (議案第19号) 平成26年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について

◎監事会開催状況

(監事定数 2名)

年月日	会議名	場 所	内 容
25. 5.21	監査	総合福祉センター	平成 24 年度収入支出決算監査

◎評議員会開催状況

(評議員定数 23 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
25. 5.29	評議員会 (1回)	総合福祉センター	(議案第 1 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について (議案第 2 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定年後の再雇用職員の雇用に関する規程の制定について (議案第 3 号) 平成 24 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について (議案第 4 号) 平成 24 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
26. 2.6	評議員会 (2回)	総合福祉センター	(議案第 5 号) 理事及び監事の選任について (議案第 6 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会旅費規程の一部改正について (議案第 7 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について (議案第 8 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について (議案第 9 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会処務規程の一部改正について (議案第 10 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会基金の設置及び処分に関する規程の一部改正について (議案第 11 号) 平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について
26. 3.28	評議員会 (3回)	総合福祉センター	(議案第 12 号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の一部改正について (議案第 13 号) 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について (議案第 14 号) 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容
25. 4.25	委員会 (1回)	総合福祉センター	(議案第 1 号) 平成 24 年度一般会計及び特別会計決算について
25. 9.26	委員会 (2回)	総合福祉センター	(議案第 2 号) 平成 25 年度共同募金運動の実施計画について (議案第 3 号) 平成 25 年度一般会計及び特別会計予算について

2. 第5次 地域福祉推進計画

無縁社会をはじめ、少子高齢化、孤立、虐待といった社会問題に象徴されるように、人と人とのつながりが希薄になる中、制度や社会のシステムだけでは解決できない、様々な問題が表面化してきています。

これらの問題を乗り越えるため重要な役割を果たすのが「地域福祉推進計画」と考え、「みんなでつくる 安心して暮らせるまちづくり」という地域福祉推進目標を掲げ取り組んできました。

平成25年度は、3ヵ年計画（平成24年度～26年度）の2年目として、計画の定着化・推進を図りこれらの4つの重点活動項目（社協づくり・情報の発信と受信・人の輪づくり・きっかけづくり）に沿った事業を展開しました。

1) 社協づくり

生活困窮者支援事業の実施に向けて、社協ワーカー研修会への参加、県・町等との協議、地域の防災訓練の協力などにより職員の資質向上と体制強化に努めています。内部研修会も開催し、人材育成及び組織全体の意識統一にも取組みました。

また、社協の理念と使命に基づき質の高いサービスを提供するため、事業におけるマニュアルの整備及び見直しと改善を図りました。

今後の課題として、社協会費及び各種財源においては、景気の低迷など今後一層厳しい状況が予測される中、介護保険事業・障害者総合支援事業をはじめ、財政の安定化が重要な課題となっています。

2) 情報の発信と受信

健康福祉まつりでは、社協事業紹介、認知症理解、福祉用具の活用法、障害者啓発事業の啓発活動等について当事者、ボランティア、福祉委員、行政との協働で実施しました。

ホームページでは、新着記事等の最新の情報を時間差なく伝えられる体制を整えるとともに、社協の見える化の一貫として、社協の財務状況（決算書及び事業報告書）なども掲載しました。

また、社協だよりにおいても、本年度より配布方法を見直し、戸別配布することで住民に必要な情報を提供できる体制を整え、掲載内容も見易さの工夫や地域福祉推進に必要な情報を十分に精査する工夫にも取り組みました。事業のサービス案内リーフレットは、コンビニ、病院等の生活圏内にも設置し、より多くの住民への情報発信に取組みました。

今後の課題として、自治会、老人会などの活動団体への未加入者や自力外出が困難な方などへ情報を受信するきっかけの少ない住民に対する情報発信方法の検討が必要となっています。

3) 人の輪づくり

当事者や学生、ボランティア、福祉関係団体、地域住民等の様々な人たちと一緒に取組む機会を増やし、福祉活動への人材のすそ野拡大に取組みました。

各校区・地区福祉委員会では、サロンの立上げの協力や福祉委員や住民の方と社協職員とのつながりづくりを、「福祉学習を考える集い」を実施する中で、学校関係者や教育委員会と連携し、福祉学習担当教諭との関係づくりにも努めました。

また、行政との協働では、生活困窮者への緊急払出や認知症高齢者徘徊対応ネットワークづくり、災害時要援護者支援制度において、地域をはじめ、行政や川西警察と今後の高齢者や障がいのある人を支援する取り組みについて協議を行いました。

今後の課題として、地域の福祉を下支えする人材不足や地域での交流や支え合いの希薄化等への対応について検討が必要となっています。

4) きっかけづくり

ボランティア活動センターでは、登録ボランティアだけでなく町内のボランティアグループ・団体等と連携し、住民のボランティア活動への参加促進を図るよう働きかけました。

福祉学習では、「福祉教育を考える集い」をきっかけに、今年度は例年ない程の多数の相談がありました。また社協で実施している事業を可能な限り多く体験できるように、学習プログラムの見える化を図ることで、新たな福祉学習のテーマに取組まれる学校が見られ一定の成果を得ることができました。

5) 地域福祉推進計画評価委員会

地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

平成 25 年度における各種事業の進捗状況の報告と前回、課題に上がった点について、その後の取組みについて報告を行うとともに委員の方々より地域の課題について協議・意見交換をしました。

開催日：平成 25 年 12 月 17 日（火）



地域福祉推進計画評価委員会の様子

3. 地域福祉活動

1) 福祉委員活動

福祉委員制度は、自分たちが住んでいる地域の福祉課題に目をむけながら住民参加の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、本年度もその活動の推進・支援に努めました。

① 福祉委員会全体会議の開催（計 2 回：5 月 25 日・12 月 7 日）



福祉委員全体会の講演の様子

- ② 役員会開催（計 5 回：5 月 11 日・7 月 6 日・9 月 7 日・11 月 9 日・2 月 1 日）
- ③ 校区福祉委員活動としてキャラバンメイトの協力を得て、認知症サポーター養成講座（グループワーク形式）を実施しました。認知症への理解者を増やすと共に、日頃から地域のつながりの大切さを啓発するための地域福祉の取り組みの一環として、今後も継続していきます。



認知症高齢者への声かけポイント



認知症高齢者理解のグループワーク

- ④ 継続的な取り組みとして福祉委員会主催で、福祉用具展示会を開催しました。
- 開催日：平成 25 年 11 月 17 日（日） 10 時～15 時
- 場 所：猪名川町文化体育館（小ホール）
- 内 容：福祉用具展示、ミニ講座、総合相談、脳トレ・擬似体験コーナー、電動カート試乗等、その他アンケート実施



福祉用具展示会 会場の様子



ミニ講座の様子

⑤ 小地域福祉組織化活動

福祉委員は、それぞれの地域特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。阿古谷小学校が平成 25 年 3 月末で廃校となりましたが、25 年度から「阿古谷小校区福祉委員会」は「阿古谷地区福祉委員会」として活動を続けています。

◆主な活動内容

小校区・地区名	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	映画会（子ども向け・大人向け 年 4 回）、福祉落語会、健康福祉まつり協力
原・松尾台地区	健康福祉まつり協力、民生委員との交流会、ふれあいひろば（年 3 回）、福祉委員研修（オアシス猪名川見学会、認知症予防講座）
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、運動会、うどんづくり教室、餅つき＆グラウンドゴルフ大会、出前寄席、健康教室）、高齢者福祉の増進（ブローチ制作、ハーモニカ演奏、ストレッチ体操、シルバー川柳、和菓子作り、等）
猪名川小校区	若葉いこいの家の運営ボランティア（いこいの家当番、子育てホットスペース、手芸サークル、健康教室とふれあいサロン等）、むつみ会の運営サポート、サマーフェスタ、秋祭り、世代交流、ふれあい運動会の支援

つつじが丘小校区	古切手等の収集と寄贈、あそびのひろば（年10回、まち協の支援）、民生委員との懇談会、夏祭りでの模擬店、男性料理教室、福祉サロン（出前落語会）、いこいの会（年12回、猪名川台）、カフェ・サンテの開催（年9回、差組）
白金小校区	『ほっとサロン憩』（9月スタート、月1回）、ふれあいサロン 絵手紙の会（年2回）、白金さくらまつり（すばるのサポート）、健康講座（まち協参画）、認知症サポーター養成講座声かけ訓練（まち協参画）、健康づくり体操（まち協参画）、福祉委員研修（施設見学）、善意の傘の補充・メンテナンス
楊津小校区	福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会、勉強会（ふれあい大島見学会、介護保険について）、認知症サポーター養成講座（大島小校区との共催）、ふれあい弁当配達ボランティア
大島小校区	福祉に関する案内文配布、出前講座（脳トレ、転ばないからだづくり、知っておこう！介護保険）、自治会住民全戸訪問、独居老人との対話、認知症サポーター養成講座（楊津小校区との共催）

⑥ 行事・イベント等への参加

健康福祉まつり、障がい者ふれあい運動会、社協会員会費、共同募金への協力など

2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度も、調理ボランティア、配食ボランティアなどの協力により、1,911食／50日（昨年度1,918食／49日）の配食を実施しました。また、毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部／年）」の発行や利用者対象にアンケート実施や事業の啓発を実施しました。ひとり暮らしの高齢者が年々増加する中、今後も安否確認や地域とのつながりを作るなど更にサービス充実に努めていきます。

◆ふれあい弁当月別配食実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	145	185	141	181	109	144	191	152	162	167	165	169	1,911
1回あたりの平均配食数	36	37	35	36	36	36	38	38	40	41	41	41	38
24年度	170	222	179	166	157	146	175	146	147	147	150	113	1,918
1回あたりの平均配食数	42	44	44	41	39	36	35	36	36	36	37	37	39

3) 福祉相談活動

① 生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々などに低金利で資金を貸付ける事業で、経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付制度です。

本年度の相談は 17 件で、そのうち 3 件が総合支援資金、13 件が生活福祉資金、緊急小口資金が 1 件となりました。申請に至ったケースは 2 件で、1 件は教育支援資金、もう 1 件は緊急小口資金でした。申請には至らないケースにおいては町の福祉課へつなぎました。また、県社協の協力で 5 年ほど償還のなかつた方との面談ができ、償還の糸口ができ、生活支援でも関わることができました。

② 心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、社会福祉会館、木津総合会館及び日生公民館において、原則毎週火曜日の午前 10 時から 12 時まで民生委員児童委員が輪番で相談を受けています。本年度の相談件数は 3 件でした。昨年度は 1 件でした。

4) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障がい者・知的障がい者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（情報提供・利用手続きの援助、利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成 12 年度より実施しています。

本年度は 26 件の相談がありましたが利用は 0 件となりました。同居家族が管理されている、若しくは成年後見制度まで踏み出して申請される、本事業で管理できる財産規模でないなどが利用に至らなかつた主要因と考えています。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成 26 年 3 月 1 日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談

4. ボランティア活動

1) ボランティアセンターの活動

- ① 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い件数は 95 件、加入者数は 1,421 名。（昨年度 117 件・1,331 名）その内、【災害特例】の取扱い件数は 1 件、加入者数は 16 名でした。
- ② ボランティアグループ連絡会では、9 グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを本年度は 2 回開催しました。
- ③ 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設けており、5 名の委員（ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事）で結成されています。本年度は 1 回開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。

◆ボランティアに関する相談受付処理状況

(件)

ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	NPO法人設立に関する相談	その他	合計	昨年度実績	
一般住民	27	28	2	3	0	0	8	0	0	68	51
ボランティア・市民活動団体	3	0	2	28	18	9	73	0	1	134	114
施設（福祉事業者）・病院	0	657	2	1	0	0	1	0	0	661	16
行政機関	1	17	5	0	2	0	12	0	0	37	29
社協	0	131	0	0	2	2	6	0	0	141	7
福祉団体	0	4	0	0	1	0	1	0	0	6	6
学校・教育機関	1	21	16	8	1	0	9	0	0	56	25
その他	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	1
合 計	32	858	27	41	24	11	112	0	1	1106	249

ボランティアの活動延べ人数は、2,053名となっています。依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

一般住民	パソコンの学習、傾聴活動等
施設（福祉事業）・病院	話相手（傾聴）、活動や作業の手伝い、演奏の披露、行事の手伝い等
行政機関	講演会等での情報保障（手話通訳・要約筆記）、託児等
社会福祉協議会	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障（手話通訳・要約筆記）、託児等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習などの指導等

2) ボランティア講座・研修会の開催

本年度も、引き続き「第5次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「手話ボランティア入門講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスター・チラシ配布などのPR活動を行いました。

また本年度は、より一層地域住民の方々に社協の活動を知って頂くことを目的に、講座終了後、講座の様子を社協だより、ホームページに掲載し周知に努めました。

① 手話ボランティア入門講座（夜間）

開催日：平成25年7月9日(火)～平成26年2月25日(火) 19:00～21:00 計24回

場 所：日生公民館 会議室

内 容：聴覚障がい者の家庭生活・社会生活上のコミュニケーションを支援するボランティアの養成を目的に聴覚障害の基礎知識・日常生活における課題や手話による表現を学びました。

参加者：9名（内5名の方が修了）



手話ボランティア入門講座の様子

② サマー・ボランティアスクール

中・高校生、大学生等を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

開催日：平成25年7月20日(土)～8月31日(土) 延べ日数：17日

場 所：総合福祉センター

内 容：介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障がい者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループ協力のもと音訳・点訳・手話・要約筆記の体験などの活動の場を設け、受講者から複数の活動を希望されるなどボランティア活動に触れる機会となりました。

参加者：6名 延べ：20名 (昨年度 23名、延べ：45名)

③ ちびっこウィンターボランティア講座

幼い頃から福祉やボランティアのきっかけ作りを目的として、本年度は高齢者とのふれあい交流や介助犬とのふれあいを実施しました。

開催日：平成25年12月7日(土)・14日(土)

場 所：総合福祉センター

内 容：第1回「いっしょにおやつを作って食べよう！」

～高齢者とのふれあい交流～

(認知症について学んだあと、グループホームの方と一緒にデコレーションクッキーを作って交流。)

第2回「介助犬を知っていますか？」

～介助犬シンシア&エルモとともに～

(介助犬の役割やご自身の生活について学んだ後、介助犬のデモンストレーションを見学、ふれあいの機会を持ちました。)

講 師：木村佳友氏 & 介助犬エルモ

参加者：小学3～6年生 13名 延べ：15名



介助犬エルモによるデモンストレーション

④ 災害ボランティア養成講座

猪名川町や各地で災害が発生した際に活動できる災害ボランティアの育成を目的に開催（2回コース）しました。

開催日：平成26年3月8日(土)・15日(土)

場所：総合福祉センター 研修室

内容・講師：

第1回 「猪名川町の防災について学ぼう！」

～防災マップを活用して～

講師：猪名川町総務課危機管理室

主事 肥爪淳氏

第2回 「災害時ーあなたなら、どう動く？」

～災害対応シミュレーションゲーム

(クロスロード)を使って～

講師：神戸クロスロード研究会

代表理事 浜 尚美氏

参加者：16名 延べ：28名



第1回目の様子



第2回目の様子

3) ボランティアの啓発等

① ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」にて、ボランティア活動センターのパネル紹介や、来場者に「どのようなボランティアに関心があるか」等を答えて頂く参加形式でのPR・啓発を行いました。またボランティアグループも、ボランティア体験などを中心に活動のPRを実施し、ボランティアに対する関心を高める機会となりました。

グループ名	内容
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音体験
手話サークル「うりんぼう」	手話体験
手話サークル「マジック」	手話体験(震災に関する手話)
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験
要約筆記ボランティア「ゆきんこ」	パソコン要約筆記体験・字幕付DVD映画会
パソコンボランティア「夢ネット」	パソコンを利用したオリジナルカード作り
託児ボランティア「ぱんぱこ」	折り紙など

② 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方や初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布しました。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用しての情報発信を実施しました。

5. 福祉用具の貸出事業

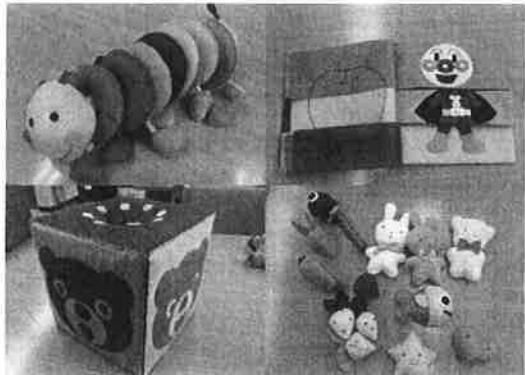
平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具（車イスや歩行器等）を基本6ヶ月以内無料（一部物品搬出料の負担あり）で貸出を実施しています。昨年度と比較して貸出数が増加しました。

貸出器具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
25年度	94	3	28	5	32	162
24年度	82	4	25	9	39	159

6. 手作りおもちゃの貸出事業

「おもちゃ図書館」では、手作りおもちゃ作りのボランティアが製作した布や木のおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ等へ貸出しを行いました。本年度は、実際に活用して頂いている地域へ出向き、どのようなおもちゃを希望されるか等も聞き取り、製作につなげるよう努めました。本年度は、ふれあい伝言板にもポスターを掲示してPRしたところ、ポスターを見て申込される新規の利用が増加しました。

本年度貸出し件数 52件 (昨年度…35件)



ボランティアによる手作りおもちゃ

7. 障がい者（児） 福祉活動

1) ふれあい交流活動

① 第20回 ふれあいバスツアーの開催



塩づくり体験の様子

障がいのある人とその家族、ボランティア等が共に外出し、一日を楽しむ中で仲間作りや生きがいの場となり、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることの一助となることを目的に実施しました。本年度は、各種障害者団体の協力を得ながら、企画の立案や運営に取組みました。

（本事業は、善意銀行の指定払い出しにより実施しています。）

開催日：平成25年12月14日（土）
場所：マリンピア神戸（塩づくり体験）・舞子プロムナード・明石市天文科学館
参加者：38名

② 障がい者ふれあい運動会の開催

障がいのある人とその家族、ボランティア等が共にスポーツ・レクリエーションを楽しむ中で仲間・生きがいづくりとして、「障がい」という壁を乗り越え、お互いの理解を深めあい、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることの一助となることを目的に開催しました。

本年度は、小学校区における住民運動会でも障がいのある人が参加しやすいプログラムや運営における工夫について参考にしてもらえるように開催時期を見直し、猪名川小学校区・白金小学校区のまちづくり協議会の会長にも参加していただきました。また白金小学校区・大島小学校区のまちづくり協議会における住民運動会では、実行委員会と町福祉課が連携し、障がいのある人でも参加しやすい住民運動会づくりに取り組んでいただきました。

協力団体・機関：当事者・猪名川町民生委員児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・猪名川町身体障害者福祉会・猪名川町手をつなぐ育成会・猪名川園・猪名川体操協会・どんこうサークル・福祉課

開催日：平成 25 年 6 月 29 日(土)

場 所：総合福祉センター コミュニティドーム

参加者：100 名

内 容：①元気にダンス！ダンス！

②伝統の一戦！

③魚つりゲーム

④応援合戦＆マルモリダンス！

⑤借り物でパン GET！

⑥ラバーレーンで大空へ

⑦抽選会



「魚つりゲーム」競技中の様子

2) 地域啓発活動事業

① 啓発活動

町国際交流協会をはじめ、各種障害者団体と協働で、障がい者の国際交流の一環として姉妹都市であるオーストラリアのバララット市と絵画作品の交換事業を実施、両市町の作品を展示しました。

開催日	開催名	開催場所
10/25～ 11/4	猪名川町・バララット市 障がい者合同作品展	町中央公民館 1 F ロビー

② イナワイ（地域交流活動）

町内のの人や各障がい者団体、NPO 法人 Co.to.hana と協働で、プロジェクトを立ち上げ、作品づくりを通して地域の方々と触れあい、3 年間をかけ住民の方と大きなアートをつくる取組みです。

2 年目となる本年度は、イベントで集めてきた参加者の描いた作品を 1 つの形にし今後の活動における象徴となるものを検討しました。



イベント時の参加者との交流風景

開催日	開催名	開催場所
6月9日	健康福祉まつり	猪名川町文化体育館 小ホール
11月30日	イナワイ（地域交流活動）	イオンモール猪名川 3F フードコート前特設会場

3) 障害者自立支援

① 障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

報酬単価の見直しと共に利用者数が増えたため増収となりました。ボランティアの方に活動していただくことで、利用者への支援の幅を広げることに取り組みました。

・就労移行支援事業

就労を希望する障がい者が、生産活動、職場実習、ビジネスマナー学習、接客販売訓練等を通じて就労に必要な知識及び能力向上のための訓練、求職活動における支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着のための支援を行いました。

本年度は、就労継続A型事業所に1名、3名が一般企業へ就職しました。

◆就労移行支援事業の利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	245日
	延利用者数	78	80	79	104	78	73	82	70	54	45	50	51	844名
	登録者数	4	4	5	5	4	4	4	4	3	3	3	4	平均3.9名
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	244日
	延利用者数	75	83	101	103	73	54	64	75	71	71	75	77	852名
	登録者数	4	4	5	5	5	3	3	4	4	4	4	4	平均4名

・就労継続支援B型事業

通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識・能力が高まった方に対し、一般就労等への移行に向けて支援する事業です。

本年度は、一般就労や就労移行への希望者はなく、主に作業や個別作業訓練を通して、作業技術の能力向上や自立に必要な生活の技術習得（歯磨き練習、金銭感覚・金銭管理等）を支援しました。

また、地域で開催されるイベントでの販売や福祉課

からの業務委託（封入作業等）に取り組み、内職作業も受注数を増やしました。



内職作業での様子

◆就労継続支援B型事業の利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25 年 度	開所日数	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244日
	延利用者数	255	261	254	278	250	242	268	246	243	235	237	246	3,015名
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156名
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	245日
	延利用者数	254	251	263	264	301	254	301	265	237	241	233	233	3,097名
	実利用者数	13	13	13	13	14	14	14	14	13	13	13	13	160名

◆就労継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25 年 度	工賃支給額	127,863	105,000	76,300	108,300	78,600	102,003	72,642	119,316	118,541	121,583	113,600	133,951	1,277,699
	平均個人支給額	9,269	8,077	5,869	8,331	6,046	5,200	3,500	6,223	6,977	6,677	11,360	8,100	7,135
24 年 度	工賃支給額	102,500	77,700	66,400	110,600	87,000	85,100	91,300	105,900	98,700	82,900	83,500	172,000	1,163,600
	平均個人支給額	7,884	5,976	5,107	8,507	6,450	6,078	6,628	7,564	7,592	6,376	6,423	13,231	7,459

・生活介護事業

自立した日常生活、社会生活を営むことを目的に、日中活動・身体機能の維持向上・日常生活上必要な生活等の支援を提供する事業です。

昨年度に引き続き、ボランティアの方にもプログラムへ参加して頂き、地域住民との交流を行いました。

また、利用者が主体となり会議を開催し公共交通機関を利用した町内への外出や調理活動にも取り組みました。



町内への外出時の様子

◆生活介護事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25 年 度	開所日数	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244 日
	延利用者数	202	205	204	230	210	194	217	202	203	209	202	197	2,475 名
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	21	21	243 日
	延利用者数	198	214	204	204	210	184	203	201	191	160	184	194	2,347 名
	実利用者数	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	

② 障害者日中一時支援事業

在宅の障がい者の家族において、その介護を行う方の疾病その他の理由により、一時的に支援を必要とする障がい者に施設支援サービスを提供することにより、障がい者及び家族の福祉の向上を図ることを目的とし、平成17年4月より実施しています。猪名川町居宅生活支援事業、日中一時支援事業の指定を受け実施しました。

◆日中一時支援利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25 年 度	実利用者数	9	4	6	10	9	6	6	9	5	7	6	7	84 名
	利用延人数	24	13	14	22	34	21	18	22	12	14	13	17	224 名
24 年 度	実利用者数	10	5	6	9	9	7	7	5	6	4	4	7	79 名
	利用延人数	39	28	20	22	38	22	24	16	20	9	12	15	267 名

③ 移動支援事業

市町村の判断で地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟に実施できるようになりました。利用者一人ひとりの目的に沿った活動のもと、将来に役立つ取り組み、社会性の向上を図ることを目的として平成18年より実施しています。今年度は、計画相談支援が開始になったことにより、新規契約者が3名増えました。

◆移動支援事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年度	実利用者数	4	3	3	4	6	2	4	3	5	4	5	6	49名
	延利用日数	9	7	7	9	10	5	5	8	8	7	10	12	97日
年度	実利用者数	3	3	2	6	6	3	4	3	3	4	3	4	44名
	延利用日数	12	12	8	17	18	11	12	14	8	11	8	17	148日

④ 地域活動支援センター

町内在住の障がい(精神疾患)のある方を対象に身近な地域での居場所づくり及び社会参加への促進等を図る一助となることを目的に、月曜日から金曜日の午前10時～16時まで、総合福祉センターにおいて実施しました。本年度は、利用者の中から2名の利用者が他の福祉サービス事業所に通所できるようになりました。年平均利用者数は昨年度の2.4人から本年度は3.6人に増加し、障がい(精神疾患)のある方の居場所として、定着しつつあります。

◆地域活動支援センター事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年度	開所日数	21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	21	245日
	延利用者数	76	79	75	75	64	54	60	81	70	69	90	93	886名
	実利用者数	13	13	12	14	13	11	10	13	11	14	13	14	
年度	開所日数	8	20	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	232日
	延利用者数	10	31	42	29	33	65	55	51	49	61	70	71	567名
	実利用者数	7	6	7	6	8	11	10	9	11	12	12	13	

⑤ 障がい者ホームヘルパー事業

障がい(身体・知的・精神がい)があるため、日常生活を営むのに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護(身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護)、家事援助(調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事)、相談・助言・その他(生活・介護に関する相談、外出時の付き添い)サービスを実施しました。

本年度は、家事援助・身体介護とも日々支援を必要とする利用者の増加により契約・利用が大幅に増加しました。本事業は、収益目的とした事業運営ではなく、家族、相談支援センター・行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援や他事業所では対応困難なケースなどを率先して受け入れに努めました。

◆障害者ホームヘルパー利用実績 ※ 移動支援事業の実績を含まない。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
25 年 度	利用実人員	6	6	6	5	5	5	5	8	7	6	7	8	74	2,614 千円
	延べ利用件数	38	55	54	48	45	40	45	59	113	94	88	110	789	
24 年 度	利用実人員	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5	5	5	45	1,269 千円
	延べ利用件数	21	24	24	12	25	21	23	30	37	39	39	41	336	

⑥ 障害者地域生活支援事業 相談支援事業

平成18年10月の障害者自立支援法の施行により、障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託しています。障がいのある方やその家族が安心して暮らしていくよう支援を実施しました。サービスの利用に関する支援や不安の解消・情緒安定に関する支援や、発達障がいの方からの生活・就労相談が増加しました。本年度は障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき計画相談支援が開始になり障害福祉サービスを利用されている方々のサービス等利用計画を作成しています。

◆障がい種別相談等延べ件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25 年 度	身体	20	30	26	26	18	25	27	33	40	32	28	23	328
	知的	25	29	29	53	36	29	46	25	26	22	23	31	374
	精神	62	82	65	71	64	51	59	23	42	37	19	35	610
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達	36	28	12	22	20	15	16	18	11	19	16	24	237
	その他	16	16	16	9	11	4	8	2	5	0	5	3	95
合計		159	185	148	181	149	124	156	101	124	110	91	116	1,644
24 年 度	身体	14	12	18	24	11	15	13	25	17	24	10	22	205
	知的	35	30	34	32	18	27	22	26	33	32	16	21	326
	精神	83	85	86	66	73	54	50	58	54	52	30	53	744
	重症心身	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発達	5	5	7	6	6	4	18	7	6	12	30	24	130
	その他	12	18	8	8	13	6	3	10	1	11	18	22	130
合計		149	150	155	136	121	106	106	126	111	131	104	142	1,537

◆計画相談支援実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
25 年 度	利用実人員	—	—	—	—	—	—	—	6	5	9	4	8	32	568,955

⑦ 声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がい者のために、音訳・点訳等により町広報・社協だより等を定期的に編集・発行しています。音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、実施しました。福祉課の協力を得て町内の視覚障がいの方に、チラシを案内し事業のPRに努め、社協だよりも掲載、事業の周知に努めました。また、CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布し、本年度の利用者数、1名(延べ18名)。昨年度は、1名 延べ2名



CD／郵送時のケース

⑧ 障がい児療育支援事業

町からの委託事業として実施している療育支援事業は言語聴覚訓練、理学療法、作業療法と枠を広げ週3日実施しました。本年度は実利用者が29名～44名で、延べ利用者数2,121名の利用がありました。

8. 高齢者福祉活動

1) 介護保険事業

① 訪問介護事業 (ホームヘルパー)

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護及び掃除や洗濯、調理等の生活援助を行いました。

本年度は、上半期は低調な利用件数で推移しておりましたが、下半期に入り新規利用者の積極的な受け入れ・支援を行うことで利用件数が増え、また冬季でも利用者の体調不良等による入院や入所などに伴う例年のような利用の落ち込みもなく、結果、利用件数・収入額とも前年度対比で増となりました。ターミナルケア(終末期介護)や介護拒否が強い利用者などの困難ケースについても、職員間で研修や情報伝達の徹底などを行い対応いたしました。

◆訪問介護事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
年度	実人員利用	58	59	60	60	59	66	65	69	68	66	66	63	759	22,708 千円
	延べ利用件数	516	532	475	572	536	582	632	623	561	602	601	613	6,845	
年度	実人員利用	63	64	64	61	64	61	64	63	62	61	57	59	743	20,632 千円
	延べ利用件数	511	604	522	563	573	500	585	582	506	481	467	544	6,438	

② 通所介護事業 (高齢者デイサービス)

入浴や食事の支援を日帰りで提供し、希望者には機能訓練を実施しています。本年度は利用者の体調不良・長期入院などの欠席やショートステイを利用される方が多く、特に5～6月にかけて利用件数が大きく落ち込み、減収となりました。

◆通所介護事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
25 年度	利用実人員	92	88	87	93	94	88	95	92	88	89	87	91	1,084	72,958 千円
	延べ利用件数	748	674	642	747	761	723	820	755	683	706	654	757	8,670	
24 年度	利用実人員	107	102	101	99	97	97	101	97	97	89	93	96	1,174	73,647 千円
	延べ利用件数	741	801	767	740	756	737	789	745	690	623	647	696	8,734	

③ 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事などの支援及び機能訓練を提供しています。

本年度は、4月中旬に1名の退所を受け、5月下旬に新たに1名の入居がありました。全入居者の介護度は、要介護2と下がり、入院される方もありましたが、空所期間は短く、比較的安定した体調で過ごされたことにより、昨年度に比べ増収となりました。

なお平成26年3月31日現在では、要介護2の方が5名、要介護5の方が1名の計6名が利用されています。

◆認知症対応型共同生活介護事業利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
25 年度	利用実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	25,158 千円
	延べ利用件数	173	165	166	186	186	180	186	180	186	185	163	175	2,131	
24 年度	利用実人員	5	4	6	5	6	6	6	6	5	5	5	4	63	22,203 千円
	延べ利用件数	125	124	138	155	186	180	182	172	155	155	140	124	1,836	

④ 居宅介護支援事業

介護サービスの利用にあたって、ケアマネジャー（介護支援専門員）が利用者の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護を必要とする方やその家族の相談に応じています。24時間相談できる窓口（電話）を開設し、主任ケアマネジャーを配置することでより専門的な相談が可能となり、安心した在宅生活を支援しました。

◆居宅介護支援事業利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
25 年度	利用実人員	108	106	104	108	109	106	108	110	103	101	103	106	1,272	16,779 千円
	利用実人員	121	120	122	125	121	125	127	126	121	115	114	115	1,452	
24 年度	利用実人員	121	120	122	125	121	125	127	126	121	115	114	115	1,452	19,089 千円

2) 介護予防・生活支援事業

軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また介護保険制度の限度額超過などでサービスが利用できないケースに対して、この事業を利用していただき支援を実施しました。

◆軽度生活援助事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
年度	利用実人員	15	16	20	21	19	21	18	18	21	16	15	14	214	1,797 千円
	延べ利用件数	67	73	80	96	86	110	129	120	96	92	75	74	1,098	
年度	利用実人員	23	22	25	18	18	19	23	19	21	12	14	12	226	1,761 千円
	延べ利用件数	114	124	103	72	78	100	115	108	86	47	44	40	1,031	

3) 地域支援事業

① 高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。栄養・食事指導の実質的件数は増加し、本年度の課題であった2次予防（低栄養改善）においては、対象者への働きかけ（第一段階）に関する相談窓口・電話相談件数が増加しました。また集団に対しては、例年の衛生講習に加え、障害者センターやグループホーム利用者への栄養講習や集団指導などが加わり、施設サービス利用者への組織教育の充実をはかることができました。また、年1度の健康づくり講演会では、本事業の柱でもある低栄養についてのテーマを取り上げ、告知や開催日を工夫することで参加者増につながり、延べ件数は352件、761名となりました。

② 地域支援事業（二次予防事業）

・認知症・閉じこもり・うつ予防教室「笑話くらぶ」

認知症や閉じこもり、うつになるおそれのある二次予防対象高齢者に、ゲームや脳トレなどのレクリエーション、調理プログラムなど、他者交流を含め、楽しく過ごし認知症や閉じこもり、うつなどを予防することを目的とし月1回の教室を開催しました。

本年度は全12回（1クール6回参加）実施し、参加人数は26名、延べ107名でした。



脳トレ体操の様子



調理プログラムの様子

・運動機能向上教室「元気アップ教室」

運動機能低下のおそれのある二次予防対象高齢者に、自宅で実施できる運動を楽しみながら行う教室で、本年度は全50回（1クール全12回）実施し、参加人数は50名、延べ593名でした。



③ 地域包括支援センターの運営

町の委託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、さまざまな支援を行う事業で、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。本年度も、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、等）を抱える困難ケースの相談や民生委員児童委員やサービス事業者、病院のソーシャルワーカーからの相談が増えるなど、多岐に渡る機関との連携内容が徐々に増えています。また、困難なケースについては町との連携を図りながら支援を行っていくことが重要となります。

総合相談（介護予防プラン作成を行わない相談）件数は、延べ 1,118 件、相談実人数 797 名でした。また介護予防プランの作成は平成 26 年 3 月時点では 304 件となりました（平成 25 年 3 月時点では 285 件）。他に老人会等からの依頼を受けて、高齢者福祉や介護予防をテーマに出前講座も行いました。

◆出前講座テーマ・件数及び参加人数

日	テーマ	対象・参加人数等
1 4/26	楽しく脳トレ	老人大学 145 名
2 5/ 1	認知症を予防しよう！脳トレ+血圧測定	西畠老人会 14 名
3 5/29	知っておこう！介護保険	松尾台老人会 16 名
4 6/ 7	レッツ！脳トレ！	杉生健康教室 21 名
5 6/11	レッツ！脳トレ！	白金プラチナクラブさわやか会 14 名
6 6/21	老後を考える ～わが町で快適な生活を送るために～	原・松尾台地区福祉交流会 18 名
7 6/28	レッツ！脳トレ！	銀山老人会 4 名
8 6/29	楽しく脳を鍛えましょう！	若葉いこいの家 24 名
9 7/ 1	転ばないからだづくり	西畠老人会 11 名
10 7/31	どうしていますか？ご近所のつながり	老人クラブ連合会地区クラブ会長会 26 名
11 9/ 1	脳トレ+血圧測定	西畠老人会 10 名
12 9/10	知っておこう！介護保険	白金プラチナクラブさわやか会 13 名
13 10/ 7	転ばないからだづくり	杉生健康教室 19 名
14 10/ 8	転ばないからだづくり	東山クラブ 20 名
15 10/ 9	転ばないからだづくり	広根長寿会 33 名
16 10/17	転ばないからだづくり	白金ほっとサロン紹 15 名
17 10/21	転ばないからだづくり	旭ヶ丘 よりみち（サロン） 16 名

18	10/22	介護保険などについて	傾聴ボランティアみみいへな 28名
19	11/ 1	転ばないからだづくり	銀山老人会 5名
20	11/ 7	知っておこう！介護保険	北野熟年なかよし会 7名
21	11/12	脳トレ体操	生甲斐相談会 26名
22	11/15	知っておこう！介護保険	老人クラブ連合会女性部会 57名
23	12/11	知っておこう！介護保険	楊津小学校区福祉委員会定例会 4名
24	12/23	脳トレ+血圧測定	西畠老人会 12名
25	1/ 7	知っておこう！介護保険+脳トレ	杉生健康教室 26名
26	1/19	健康寿命を延ばす生活習慣のコツ +脳トレ	旭ヶ丘コスモスクラブ 26名
27	1/25	成年後見制度について（入門編）	ゆうあいグループホーム 家族介護者交流会 11名
28	2/ 6	認知症予防と脳トレ	東山クラブ 12名
29	2/21	認知症予防と脳トレ	原・松尾台地区福祉委員会定例会 12名
30	2/28	地域包括支援センターについて 脳トレ	シルバー人材センター女性部会 13名
31	3/21	認知症予防	若葉熟年クラブ 30名
32	3/26	楽しく脳を鍛えましょう	差組 カフェ・サンテ（サロン） 8名
合 計			696名



若葉いこいの家 出前講座



杉生健康教室 出前講座

④ 家族介護支援事業

・家族介護教室

開催日：平成 26 年 3 月 15 日（土）

場 所：総合福祉センター 教養娯楽室①・②

参加者：35 名

内 容：「遺言知識を深める落語と

エンディングノート講座」

講 師：きよみ行政書士事務所

行政書士 生島清身 氏（天神亭きよ美 氏）

・認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修を受けた方）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その人の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担の軽減を図ることを目的としています。

本年度に入り新規利用者より申込があったため、利用者数・利用時間とも昨年度と比較



し、利用増となりました。本年度の利用者は3名、利用延べ時間 85.5 時間です。

(昨年度 利用者2名 利用延べ時間 36 時間)

・認知症サポーター養成講座

平成17年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成20年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によって作っていくことを目指す、全国的な取組みです。

◆認知症サポーター養成講座開催数及び参加人数

	開催回数	サポーター数
25年度	3回	62名
24年度	8回	211名
23年度	5回	99名
22年度	4回	73名
21年度	10回	540名
20年度	4回	128名



認知症についての講義の様子



認知症徘徊声かけ訓練の様子

⑤ 地域ふれあい事業

・「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らせ、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成16年度より実施しています。

本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

・高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（平成25年10月30日実施、約200名の参加）に運営助成をしました。なお、助成は共同募金地域配分金を財源としています。

9. 福祉教育活動

1) 福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。

昭和 59 年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として町内全ての小学校 6 校と中学校 3 校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組みました。

また各小中学校への福祉教育助成金は共同募金地域配分金を財源としています。

2) 「福祉学習を考える集い」の開催

学校での福祉学習では、自ら学び考え、「生きる力」を育むことを目的に地域のニーズに応じて様々な形で実践されています。本会では今後の福祉学習の進め方、課題についての共有化と課題解決に向けた取り組みを進めていくことを目的として、6 年ぶりに「福祉学習を考える集い」を開催しました。この集いをきっかけに、本年度は様々な学校から相談があり、多くの学習が展開されました。

開催日 平成 25 年 8 月 6 日(火) 9:30~11:30

場 所 総合福祉センター 研修室

参加者 小・中学校教員及び学校関係者、教育委員会等

計 15 名

講 演 「共生社会をめざした福祉教育・ボランティア学習」

～共に生きる力の育成をめざして～

講 師 大阪教育大学 新崎 国広 氏



3) 福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催月	内容	講師	対象者
猪名川 小学校	5月	熟年クラブとの交流(芋苗植え)		1年生
	9月	点字の体験と話	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生
	11月	希望の家すばるとの交流 (運動会の競技等を通してふれあい)		6年生
	11月	福祉講演会 「ちがいと一緒に感じよう」 (車椅子バスケット選手による話と体験)	伊丹スーパーフェニックス 大内 秀之氏	全校生徒
	12月	介護老人保健施設せいふうとの交流(歌・折り紙等)		3年生
	12月	熟年クラブとの交流(芋料理・昔遊び)		
	年 20 回 程度	川西養護学校との交流活動		
	3月	児童養護施設の説明会(児童向けの資料も配布)		
楊津	6月	福祉講演会 「パラリンピックメダリストによる話」	パラリンピック 水泳選手 加藤 作子氏	全校生徒・地域の方々
	9月	地域のお年寄りとの交流(運動会への招待)		

小学校	10月	総合福祉センターの見学・交流		4年生
	11月	地域のお年寄りとの交流 (やないづっこオステージへの招待)		
	11月	点字の体験と話	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生
	11月	聴覚障害者の話と手話	手話サークル「マジック」	4年生
	12月	高齢者擬似体験グッズを使っての体験	社会福祉協議会職員	4年生
	2月	聴覚障害者の話と手話(手話の表現)	手話サークル「マジック」	4年生
	3月	介護老人保健施設せいふうへ訪問・交流 (自分たちでプログラム・贈り物を考えた)		
	11月	健康福祉講演会	名古屋芸術大学名誉教授 三輪 弘美氏	
大島	11月	校内音楽会に「ふれあい大島」の高齢者(入所の方々)を招待		
	11月	「ふれあい大島」へ訪問 (デイサービス利用の方々と音楽交流)		1・2年生 4年生
	1月	猪名川園との交流(共同で旭ヶ丘公園の清掃作業)		5年生
	1月	杉生老人会との交流(昔遊び)		1年生
	2月	福祉講演会 「パラリンピックメダリストによる話」	パラリンピック 水泳選手 加藤 作子氏	
	3月	ふれあい大島訪問(和太鼓の演奏)		太鼓クラブ児童
	3月	猪名川園へ訪問・交流(利用者の講話・一緒に作業)		6年生
	6・9・12月	川西養護学校との交流活動 (川養祭・児童会行事・作品展等)		
松尾台	6・10・11・1・2月	幼稚園児との交流(遊び・制作・学習体験)		
	6・9・11・1月	「平和集会」「運動会」「作品展」「お祭り集会」等に地域の方々を招待		
	11月	福祉講演会(中谷中と合同開催)	腰塚勇人氏	5・6年生
	2月	福祉講演会 「盲導犬の役割や目の不自由な方への接し方・PR 犬のデモンストレーション」	関西盲導犬協会 中谷 久美子氏	1~4年生
	3月	登下校の見守り・清掃活動・図書館活動・英語活動 でお世話になったボランティアの方々にお礼の気持ちを伝え感謝する機会を設けた		
	4月	点字の体験と話	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生
白金	10月	総合福祉センターの見学		4年生
	11月	ゆうあいデイサービスセンター利用者との交流 (合奏・手品・紙芝居・折り紙・歌など)		4年生

小学校	つづじが丘	1月	福祉講演会 「車椅子バスケットボール選手による話と体験」	伊丹スーパーフェニックス 大内 秀之氏	4年生
		9月	運動会に地域の方や高齢者の方々を招待		
		11月	福祉講演会「介助犬についてのお話」	木村佳友氏 & 介助犬エルモ	全校生徒
		12月	図工展に地域の方や高齢者の方々を招待		
		随時	川西養護学校やこやの里養護学校との交流活動 (授業や図工展等にて)		
中学校	中谷	7月	特別養護老人ホームさぎそう園へ訪問・交流		
		11月	福祉教育講演会(小中合同講演会)	腰塚勇人氏	1~3年生 保護者・ 地域住民・
		通年	福祉図書による啓発活動		
	六瀬	9月	高齢者との交流活動 (町主催「敬老会」にて吹奏楽部が演奏)		吹奏楽部
中学校		10月	福祉講演会「半ケツとゴミ拾い」	荒井祐二氏	全校生徒
		11月	高齢者との交流活動 (介護老人施設せいふうにて吹奏楽部が演奏)		吹奏楽部
猪名川	1月	障がいのある人との共生のほか、いじめのない仲間作りのための講演会			
	高校		通年	啓蒙活動(障害者・ボランティア・福祉教育に関する書物を教材にして授業を実施)	
猪名川	11・12月	聴覚障がいの学習・手話の体験	手話サークル「うりんぼう」	3年生 (教育コミュニケーション類型)	

4) 「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

◆トライやる・ウィーク受け入れ状況

受入期間	学校名	受入人数
6月3日～6月7日	中谷中学校	2名
	六瀬中学校	2名
5月20日～5月24日	猪名川中学校	6名

10. 広報・啓発活動

1) 広報紙等の発行

機関紙である『社協だより』を6月、10月、1月、3月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。

また、『ひょうごの福祉』を関係機関に配布すると共に、『ふれあい伝言板』（役場、図書館、六瀬住民センター、日生連絡所に設置）に福祉情報を掲示、ホームページでの社協活動のPRに努めました。（共同募金の地域配分金を活用しています）

2) 第18回「健康福祉まつり」への取組み

地域福祉推進計画の「人の輪づくり」の活動項目の中にもある、事業所・各種団体との連携や福祉の仲間づくりといった取組みについて意識しながら、地域の人や当事者の人、各種関係団体の人たちと協働し啓発に取組みました。



参加型パネル展



車イス体験

11. 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金B種配分金が主です。しかし、少子・高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えるとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

1) 社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和 63 年から実施し、本会会員には、平成 9 年度から「会員之証」を発行しています。

◆会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	25 年度		24 年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2, 594, 435	49 自治会	2, 826, 112	49 自治会
賛助会員	5, 000	300, 000	52 事業所	305, 000	60 事業所
団体会員	5, 000	10, 000	2 団体	10, 000	2 団体
計		2, 904, 435		3, 141, 112	

2) 赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会 猪名川町共同募金委員会として、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。本年度も、自治会・学校・法人・民生委員児童委員・職域などで多くの皆様のご協力をいただきましたが、昨年度に比べ若干減額となりました。

◆共同募金実績

目標額	実績額	達成率
2, 192, 000 円	2, 211, 120 円	100.87%

◆募金別実績額

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1, 400, 083	職域募金	285, 000
街頭募金	48, 719	学校募金	134, 971
法人募金	334, 000	その他（募金箱）	8, 347
合計		2, 211, 120	

◆社協会費と共同募金の推移

(単位：円)

科目/年度	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年度
社協会費	3, 473, 930	3, 380, 251	3, 076, 870	3, 141, 112	2, 904, 435
共同募金	2, 343, 211	2, 334, 907	2, 348, 513	2, 265, 508	2, 211, 120

◆共同募金 B 種配分金の推移

昨年度共同募金実績に対して翌年度に共募 B 種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

(単位：円)

科目/年度	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
共募 B 種配分金	1, 918, 000	1, 873, 000	1, 883, 000	1, 848, 000	1, 769, 000

3) 歳末たすけあい運動募金活動

◆募金実績

(単位:円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	661,514	
2	街頭募金	16,534	12/7, 12/8 イオン猪名川
3	募金箱	1,225	
4	預金利子	46	
5	前年度繰越金	197,204	
合計		876,523	

◆配分内訳

(単位:円)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	70,000	10,000	7	世帯当たり1万円へ変更
2	準要保護世帯(基本額)	350,000	5,000	70	包括支援、相談支援等
3	準要保護世帯(2人目以降)	159,000	3,000	53	教育委員会より
4	繰出金	60,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	予備費	237,523	0	0	
合計		876,523		130	

4) 善意銀行活動

地域の方々からの善意(金品や物品等)を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

◆平成25年度 善意銀行預託払出手状況表

口座種類	預託内容	金額等	備考	払出手	金額等	備考
金 銭	一般	457,623円	33件	一般	105,000円	・摂丹地区里親会 ・療育募金協力1件 ・緊急払出し2件 ・災害見舞金1件
	指定	20,000円		指定	113,174円	・ふれあいバスツアーパーク ・ふれあい弁当
	合 計	477,623円		合 計	218,174円	
物 品	福祉用具	13件	・車イス1件 ・ポータブルトイレ6件 ・シャワーチェア2件 ・浴槽台3件 ・浴槽手すり1件	福祉用具	8件	町内福祉施設など へ払出し
	その他	23件	・紙おむつ、パッド ・タオル ・マッサージチェア ・ネプライザー ・ふき取り布 ・お米、菓子 ・布団、衣類、洗剤など	福祉用品 その他	28件	
	合 計	36件		合 計	36件	

1 2. 団体事務局の運営

本会では、次の福祉7団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1) 老人クラブ連合会 | 5) 身体障害者福祉会 (セルフヘルプグループ) |
| 2) 生甲斐相談会 | 6) 手をつなぐ育成会 (") |
| 3) 遺族会 | 7) こころ猪名川家族会 (") |
| 4) 英霊にこたえる会 | |

1 3. 総合福祉センター管理運営等

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなります。

◆総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

協質名	実施時期・実施回数	参加者数
健康体操教室	5月～7月 8回	21名
楽しいコーラス教室	5月～7月 6回	12名
絵手紙教室	5月～7月 6回	13名
ペン習字教室	5月～7月 6回	13名
初級水泳教室	6月～7月 6回	6名
けしこむはんこ教室	10月 3回	8名
ヘルシーおやつ作り教室	10月～12月 3回	5名
演歌ビクス教室	10月～2月 6回	21名
ニューススポーツ教室	10月～2月 6回	8名
アクアトレーニング教室	10月～3月 8回	10名
計	58回	117名

◆総合福祉センター施設の利用状況一覧表

年度	一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム	障害者談話室	作業室
	件数		398件	190件	1,112件	0件	0件
年度	人数	47,320名	5,272名	5,694名	2,867名	8,946名	0名
	件数		407件	222件	1,026件	9件	155件
24	人数	47,476名	5,149名	4,610名	2,145名	9,523名	54名

◆総合福祉センターの施設修繕一覧表

実施時期	修 繕 工 事 内 容	金 額 (円)
5月	給湯配管水漏れ緊急工事	34,650
6月	プールろ過ポンプ緊急工事 ドーム前ベンチ座面補修工事	164,100
7月	浴室用雑排水ポンプ及び制御部品取替工事 障害者センター蛍光灯安定器取替工事 障害者センタートイレ手洗い部品交換工事 コミュニティードームセンターストラップ部品交換工事	555,608
8月	福祉センター2階ベランダ蜂の巣駆除 泡風呂浴室引き戸修理	59,115
9月	岩風呂シャワーフック取替工事 障害者センター蛍光灯安定器・ランプ不良交換 環水槽給湯還り管漏水緊急工事 福祉センター浴室緊急通報装置（ナースコール）修理	82,110
10月	福祉センター厨房シャッター修理	11,865
11月	岩風呂扉引き戸調整 火災通報装置修理	63,630
12月	福祉センター給湯器修理	16,065
1月	泡風呂シャワーフック取替工事	2,625
2月	岩風呂扉引き戸クローザー取替工事	91,801
3月	福祉センター浴室緊急通報装置（ナースコール）修理	15,750
計		1,097,319

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

◎理事 (定員 11 名) (任期 平成 24 年 6 月 11 日～平成 26 年 6 月 10 日) ※順不同

会長 鍋谷 將

副会長 桑江朝武

理事 矢藤義宏

〃 中村多一

〃 奥西早苗

〃 亀川公昭

〃 中田隆男

〃 村山興治

〃 井ノ末利幸

〃 喜多護

常務理事 紺家儀二

◎監事 (定員 2 名) (任期 平成 24 年 6 月 11 日から平成 26 年 6 月 10 日)

監事 家門正幸

監事 今村恵子

◎評議員 (定員 23 名) (任期 平成 24 年 5 月 1 日～平成 26 年 4 月 30 日) ※順不同

評議員 佐々木 敬二

評議員 河邊 義人

谷 清

高岡 美津子

戸田 絹代

粟井 真司

堀口 初恵

平井 邦子

田中 幸子

広瀬 隆

山 尚代

橋本 正一

今泉 友幸

福井 和夫

荒井 康子

武内 佳代子

太田 はるよ

杉村 正己

川西 栄治

関口 捷子

大下 章

荒瀬 範彦

井上 清太郎

